

専門学生むけ運管講習

NASVA仙台主管支所

自所初 新たな市場を開拓

自動車事故対策機構(NASVA)の仙台主管支所(早川勤也主管支所長)は4月6日、専門学校等の学生を対象に運行管理者等基礎講習を実施し、資格の取得促進を図った。受講したのは、自動車整備士を目指す赤門自動車整備大学の学生。女子2人を含む20人以上が、3日間の講習に臨んだ。

同支所では年々、基礎講習を受ける人数が減少傾向にある現状を危惧し、実施時期や場所などを調整して受講者増加対策をとってきたものの、新たな市場を開拓する必要を強く感じていた。



実際にアルコール検知器を使って講義

そこで、資格取得により就職で有利になることを期待できる高校生や専門学校の学生に、2018年度からチラシを配布してアプローチを開始。こうした活動が実を結び、同支所にとって初めての学生向け講習が実現した。

5日には、早川主管支所長が「今、運輸業界では、皆さんのような若手の活躍を渴望している状況。講義を通して、この業界でどんな業務を行い、安全に對してどのように取り組んでいかねばならないか、全員の無事講習を終え、資格の取得につながるよう祈っている」と

ベトナム企業へ出資

住商・鈴与と連携 JOIN

国土交通省は9日、海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN、波多野琢磨社長、東京都千代田区)によるベトナム最大手の総合物流企業Gemadep

(GMD)への22億円の出資について、石井啓一国土交通大臣が認可したと発表した。JOINが出資する現地法人と、住友商事、鈴与(鈴木健一郎社長、静岡市清水

を渴望している状況。講義を通して、この業界でどんな業務を行い、安全に對してどのように取り組んでいかねばならないか、全員の無事講習を終え、資格の取得につながるよう祈っている」と

あいさつ。

同日は、伴野晋一・アシスタントマネージャーが講師を務め、点呼の内容などを説明。学生たちはアルコール検知器を実際に使ったりしながら理解を深めた。(今松大)

据えた一連のサービス強化について発表した。2019年1〜6月期において、日本では東京都、神奈川県、埼玉県、愛知県の一部地域で輸出入貨物の輸送時間を1日短縮したのに加え、輸出貨物では埼玉県三郷市からの集荷締め切り時間を3時間延長。これにより、41の国と地域において、2200万社超の企業が世界との連結性向上につなげている。

UPSジャパンのダリル・テイ社長は「継続的に展開してきた強化策は、貿易環境が複雑化する中でもより良いサービスを提供するというコミットメントを示したものの、輸送時間の改善により、アジアの企業はUPSの経験を組み合わせることで更なる競争力の向上が可能となる」としている。(井内亨)

木製パレット

アイ

インターネット木材市場eTRREを運営する森末来(浅野純平社長兼CEO)は最高経営責任者、東京都港区)は8日、セイノーホールディングスとの協業事業として、輸送の際に使用された廃棄予定の木製パレットの再活用アイデアを募集するコンペティション「パレットアワード」のエントリーを開始した、と発表した。

物流業界では商慣習により、物流事業者が仕入れて

HINODE&SONS 岡山・倉敷に複合ビル

旧本社解体 整備工場など一体型

HINODE&SONS(佐藤慎司社長、岡山県倉敷市)は2日、片島町複合ビル(同市)の新築工事を実施する、と発表した。本社として活用していた既存の建物を解体し、6640平方メートルの敷地に整備工場・観光バスの車庫・事務所の一体型建物を新築する。鉄骨造り2階建てで、建築面積は1400平方メートル、延べ

床面積が1590平方メートル。工期は2019年7月から20年4月ごろまでで、建物の完成は19年12月を予定している。

片島町複合ビルの用地は、同社の前身となる日出運輸が1977年に輸送主管センターを開設以来、40年余りにわたって地域に根ざした事業拠点として機能してきた。しかし、事業

拡大に伴い、2017年12月に倉敷市船穂町に新事務所・物流センターを新築。HINODE&SONSの倉敷本社、日の出運輸山陽(上本壘社長、同市)の本社・岡山主管支店、フィタジャパンロジスティカ(水粉寿志社長、東京都足立区)の倉敷情報センター、日の出ネットワークス(佐藤社長、倉敷市)が片島町



新築後の建物には、ロウズ観光(佐藤雅彦社長、倉敷市)、日の出自動車(同)、ライズイン(同)が入居する予定。これにより宣伝効果や職場環境の向上を図り、営業力のアップや人材採用力の強化につなげていく。(江藤和博)

建築面積は1400平方メートル、延べ床面積が1590平方メートル(完成予想図)

ではこれまで、片島町の施設の有効活用を模索。18年8月には敷地の一部にコンビニエンスストアを誘致したが、敷地全体として統一感のある複合施設を建設してリニューアルすることに決めた。

新築後の建物には、ロウズ観光(佐藤雅彦社長、倉敷市)、日の出自動車(同)、ライズイン(同)が入居する予定。これにより宣伝効果や職場環境の向上を図り、営業力のアップや人材採用力の強化につなげていく。(江藤和博)

集荷時間延長 埼玉・三郷で

UPS

米UPSは9日、アジア太平洋地域の経済発展を見

パートに日々の感謝伝え

川崎陸送 社長らがもてなし

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は6日、パートタイマー感謝デーを開催した。樋口社長ら役員がホスト役となって日々の事業運営を支えるパートタイマーをもてなし、感謝の気持ちを伝えた。写真。

樋口氏は「皆さんの協力により、95周年を迎えることができました。本当にありがとう。限られた時間だが、

に恵まれ、諸先輩方が築いてくれた土台のお陰で、間もなく100周年を迎えられることに感謝したい」と述べた。

同日は、大抽選会などを催したほか、オフィシャルパートナーとなっているプロバスケットボールチーム、千葉ジェッツの西村文男選手や公式チアリーダー「STAR JETS」も会場に駆け付け、会を盛り上げた。(中西祥梧)

JERA向け新造船 総州丸と命名

商船三井

商船三井は2日、JERA(小野田聡社長、東京都中央区)との共同出資会社、

日本郵船 ばら積み船

日本郵船は、

コフジ物流(堂坂佳延社長、大阪府枚方市)は10月までに行う中継輸送の増車とルート開拓に伴い、東海圏に新しく自社の中継輸送拠点を設置する構想を持っている。これまでは関東・関西を7台14ペアで

物流

同社の中継輸送は働き方改革と人手確保の両面で効果が出ており、10月以降の

